

製品名: ALDH7A1 (14K11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06766**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	ALDH7A1
別名	ALDH7A1; Antiquitin; ATQ1; Betaine aldehyde dehydrogenase; EPD; PDE;
遺伝子 ID	501.0
SwissProt ID	P49419
免疫原	ヒト ALDH7A1 の合成ペプチド

背景

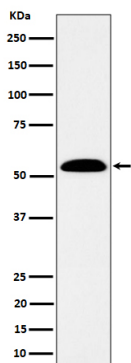
重要な保護効果を媒介する多機能酵素。ベタインアルデヒドを、重要な細胞浸透圧調節物質およびメチル供与体であるベタインに代謝します。脂質過酸化由来のアルデヒドを代謝することにより、細胞を酸化ストレスから保護します。リジンの分解に関与します。

重要な保護効果を媒介する多機能酵素。ベタインアルデヒドを、重要な細胞浸透圧調節物質およびメチル供与体であるベタインに代謝します。脂質過酸化由来のアルデヒドを代謝することにより、細胞を酸化ストレスから保護します。リジンの分解に関与します。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



SW480 細胞溶解物中の ALDH7A1 発現のウェスタンブロット解析。